

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鉄道㈱ 牛久線	茂原駅南口～長南営業所 ～牛久駅	ホームページ・広報等に路線 バスの利用を促す記事を掲載 した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率49.5%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は6.5%悪化し43.0%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 沿線の学校の通学利用は増加したものの、広告収 入の減や人件費や燃料高騰による費用の増加。	・利用状況等を踏まえ、並行路 線と統合する等の路線再編を 行い、持続的な公共交通を目 指す。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。
小湊鉄道㈱ 大多喜牛久線	大多喜車庫～循環器病セ ンター～牛久駅	高速バスとの乗継が可能であ る旨、沿線市のホームページ で周知した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率41.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は12.4%悪化し28.8%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 沿線人口の減少等による利用者の減少、広告収入 の減や車両費・人件費・燃料費等の費用増加。	・利用状況を踏まえ、路線の再 編や車両の小型化等、持続的 な公共交通を目指す。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。
小湊鉄道㈱ 茂原長南線	茂原駅南口～長南～長南 営業所	ホームページ・広報等に路線 バスの利用を促す記事を掲載 した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率52.4%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.9%2.1%悪化し50.3%と なった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 沿線の学校の通学利用は増加したが、それを上回る 広告収入の減や車両費・人件費・燃料費等の費用増 加	・通学需要や観光需要の把握 に努め、より鉄道に接続しやす ダイや改正を検討する。 ・バス路線の利用実態調査結 果をもとに、一部重複する関係 系統等を含めた再編について 関係者間で協議する。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。
小湊鉄道㈱ 茂原ロングウッド線	茂原駅南口～郡界橋～ロ ングウッドステーション	ホームページ・広報等に路線 バスの利用を促す記事を掲載 学校の下校便に合わせたダ イや改正を実施した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率55.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は11.1%悪化し44.1%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 沿線人口の減少等による利用者の減少、広告収入 の減や車両費・人件費・燃料費等の費用増加	・通学需要や観光需要の把握 に努め、より鉄道に接続しやす ダイや改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鉄道㈱ 塩田喜多線	塩田営業所～浜野駅東口 ～喜多	鉄道との接続を考慮したダイヤ 改正の実施した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率88.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は8.1%悪化し80.2%となっ た。 【目標の達成状況の要因(分析)】 ダイヤ改正による利便性向上により利用者は増加 したが、それを上回る広告収入の減や車両費・人件 費・燃料費等の費用増加	・通学需要や観光需要の把握 に努め、より鉄道に接続しやす いダイヤ改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。
小湊鉄道㈱ 大網白子車庫線	大網駅～白里海岸～白子 車庫	鉄道との接続を考慮したダイヤ 改正を実施した。 沿線自治体において、通学定 期の補助を実施した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率81.7%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.1%悪化し77.6%となっ た。 【目標の達成状況の要因(分析)】 ダイヤ改正による利便性向上や通学定期補助によ り利用者は増加したが、それを上回る広告収入の減 や車両費・人件費・燃料費等の費用増加	・通学需要や観光需要の把握 に努め、より鉄道に接続しやす いダイヤ改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。
小湊鉄道㈱ 大網サンライズ九十九 里線	大網駅～白里海岸～サン ライズ九十九里	鉄道との接続を考慮したダイヤ 改正を実施した。 沿線自治体において、通学定 期の補助を実施した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率75.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は6.8%悪化し68.3%となっ た。 【目標の達成状況の要因(分析)】 ダイヤ改正による利便性向上や通学定期補助によ り利用者は増加したが、それを上回る広告収入の減 や車両費・人件費・燃料費等の費用増加	・通学需要や観光需要の把握 に努め、より鉄道に接続しやす いダイヤ改正を検討する。 ・運賃改定を実施し収支の改 善を目指す。
地方運輸局等におけ る 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向 や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の 需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会
 評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
九十九里鉄道(株) 片貝循環豊海線	東金駅～家徳・幸田～東金駅	関係市町とともに、バスの認知度向上及びバス利用の促進を図るため、時刻表や路線図の配布等を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率86.6%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は26.6%悪化し60.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 他路線を減便した結果、乗り継ぎ客が減少し当該路線の利用者も減少した。	乗り継ぎしやすい運行ダイヤ調整を検討する等、利便性向上を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通㈱ 馬来田線	木更津駅東口～清見台東 ～東横田	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率33.0%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.6%悪化し32.4%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 コロナ禍から利用者は回復傾向にあるが、燃料高 騰による費用の増加 が収益の増加を上回った	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 三島線	木更津駅西口～八重原～ 中島	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率42.0%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は2.9%悪化し39.1%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R6.4ダイヤ改正により利便性が向上し利用者は増 加したが、燃料高騰による費用の増加が収益の増加 を上回った	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 姉ヶ崎線(平岡小)	姉ヶ崎駅～平岡小前～茅 野	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率60.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.4%悪化し55.8%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R6.4ダイヤ改正により利便性が向上し利用者は増 加したが、燃料高騰による費用の増加が収益の増加 を上回った	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 姉ヶ崎線(桜台団地)	姉ヶ崎駅～桜台団地～茅 野	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率61.8%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.4%改善し62.2%とな った。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R6.4ダイヤ改正により利便性が向上し利用者は増 加した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通㈱ 君津市内循環線	八重原A3棟前～君津製 鉄所～君津駅北口	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率54.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.8%悪化し54.1%となつた。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R6.4に減便により経費削減を図ったが、燃料高騰による費用増加が経費削減効果を打ち消し、減便に伴う利用者減で収益が減少した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 畑沢線	木更津駅西口～東畑沢～ 君津駅南口	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率42.6%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.9%悪化し38.7%となつた。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R6.4に実施したダイヤ改正(減便)により利用者が減り収益が減少した。燃料高騰などにより費用が増加した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 高倉アカデミア線	木更津駅東口～かずさ アーク～かずさ小糸南	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率51.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.1%改善し55.2%となつた。 【目標の達成状況の要因(分析)】 コロナ禍の収束に伴い利用者が増加(回復)した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 富津線	木更津駅西口～青堀駅～ 富津公園	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り 方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率66.4%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.5%悪化し61.9%となつた。 【目標の達成状況の要因(分析)】 減便を実施したことにより利用者が減少し、また燃料高騰により費用が増加した	鉄道のダイヤ改正にあわせ た、バスのダイヤ改正の検討 や、利用者ニーズに沿った運 行計画の検討を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通㈱ 館山鴨川線	館山駅～鴨川駅～亀田病院	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率31.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は1.2%改善し33.1%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 コロナ禍の収束に伴い利用者が増加(回復)した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 館山市内線	館山航空隊～なむや～小浜	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率38.6%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は5.4%悪化し33.2%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 R5.6月から運行開始した市街地路線と一部運行区間が重複しており、そのため利用者が分散したため当該路線の利用者が減少し、燃料高騰などにより費用が増加した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 木更津鴨川線	亀田病院～かずさアーケ～イオンモール木更津	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率34.6%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は1.9%悪化し32.7%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 燃料高騰などにより費用が増加した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 鴨川市内線	誕生寺入口～鴨川駅～仁右衛門島入口	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率47.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.9%悪化し46.3%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 再編により収益・費用共に減少となったが、燃料高騰などの影響により収支率は悪化した。	鉄道のダイヤ改正にあわせ、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通㈱ 鴨川市内線(鴨川駅前)	誕生寺入口～鴨川駅前	タウン誌へ路線情報を掲載した。 自治体と協力してバスの乗り方教室を開催した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率47.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.1%悪化し47.1%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 再編により収益・費用共に減少となったが、燃料高騰などの影響により収支率は悪化した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・鉄道との接続や乗降調査による利用状況をもとに県や市町、関係機関と連携し、地域のニーズに合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が図られることを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ちばフラワーバス(株) 八街線	成東駅～埴谷～八街駅	バスの乗り方教室の開催や花 火大会や祭り等のイベント時の 広告を車内に掲示した。	A	計画通り事業は適切に 実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率15.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.9%改善し16.2%となっ た。 【目標を達成できた要因(分析)】 運賃改定による増収となったが、人件費や燃料費 の高騰による費用も 増加した。	自治体と連携した割引制度の 検討や花火大会・祭り等のイベ ント広告の実施等の利用促進 PR等の実施を行う。
地方運輸局等におけ る 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・交流人口の取り込みには、来訪者の動向を調査し分析を行った上で、効果的な利用促進策が図られることを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株) 多古本線	八日市場～多古～成田	バスの乗り方教室の実施や、 学生に対し時刻表等の情報を 記載したチラシ等を配布した。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率52.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は2.4%悪化し49.9%となつた。 【目標を達成できなかった要因(分析)】 減便に伴う通勤・学生の利用者の減少や、人件費及び燃料費の高騰による費用増加。	・インバウンド向けの利用マップの作成・配布等の利用促進を図る。 ・運賃改定を実施し収支改善を目指す。
ジェイアールバス関東(株) 南房州本線	館山～安房神戸～安房白浜	スマホ1日乗車券・回数券の販売等により、当該路線の利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率44.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は7.4%悪化し36.7%となつた。 【目標を達成できなかった要因(分析)】 通勤・学生の利用者の減少や、人件費及び燃料費の高騰による費用増加。	・イベント(花火・祭礼等)の開催時に臨時バスを運行や、交通系ICカードの導入など、利用者サービスの向上策を検討する。 ・運賃改定を実施し収支改善を目指す。
ジェイアールバス関東(株) 栗源線	多古台バスターミナル～高根～佐原	沿線施設を活用したモデルコースの作成をした。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率32.0%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は5.9%悪化し26.1%となつた。 【目標を達成できなかった要因(分析)】 通勤・学生の利用者の減少や、人件費及び燃料費の高騰による費用増加。	・沿線高校に対する定期券の出張販売や中学校卒業生に対する利用促進等を検討する。 ・運賃改定を実施し収支改善を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・学生やイベントを対象とした利用者に向けた利用促進策について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会
 評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス㈱ 北部循環線	草野車庫～八千代台駅～ いきいきプラザ	沿線にある集客施設と時刻表を記載したルートマップを作成し、自治会内で配布することで、地域の魅力とバスの利便性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率33.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は1.7%改善し34.9%となった。 【目標を達成できた要因(分析)】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ輸送人員が回復した。そのため、運送収入が増加した。	・運送事業者、関係市、地元自治会からなる三者 会議を開催し、利用促進策や課題等について協議を行う。 ・運賃改定を実施し収支改善を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・自治体の協力を得た利用促進策の実施や関係機関や地元自治会との効果的な利用促進策等の協議実施について評価する。引き続き生産性向上の取組を実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城急行自動車(株)岩井線	野田市駅～下町～岩井車庫 車両減価償却費補助1台	共通学生フリーパスのPRやバスの利用案内を沿線施設に配布する等、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率81.5%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は0.5%悪化し81.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 円安等の影響による外国人観光客の増加に伴い利用者数は増加したが、燃料高騰により費用も増加した。	バスの乗り方教室を開催する等、引き続き利用促進を図るほか、費用削減策を検討する。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・引き続き近隣市町のバスとの接続を考慮し、効果的な利用者利便の向上が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
千葉中央(株) おまご線	千城台駅～ 沖十文字バス乗換場・農 政センター ～千城台駅	バス運行上のオープンデータ 化により、Googleでの経路検索 に対応させ、利用者への利便 性向上を図った。	A 計画通り事業は適切に 実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率20.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は2.4%悪化し17.9%となっ た。 【目標の達成状況の要因(分析)】 人件費等の費用増加による。	沿線観光資源との連携や運行 計画の見直しなど、利用促進 策について、運送事業者、関 係市、地元自治会からなる運 行協議会において、協議・検討 する。
地方運輸局等におけ る 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向 や事業の実施状況の把握に務めること。 ・観光との連携や自治体や自治会、運送事業者との連携による地域のニーズに合った地域公共交通の確保に向けた利用促進策を実施することを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の 需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通㈱ 成田佐原線	京成成田駅～来光台～ 佐原粉名口車庫	検索サイト会社に時刻表のデータ提供を実施した。 沿線自治体において、公共交通ガイドマップを作成した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率68.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は2.0%悪化し66.3%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 工業団地等で外国人労働者が増加したことで利用者が増加したが、人件費や燃料費等の経費も増加した。	中学卒業予定者へのチラシ配布等の利用促進策を検討。また、コスト削減のための路線再編もあわせて検討する。
千葉交通㈱ 銚子旭線	東芝町/双葉町～ イオンモール銚子～旭駅	検索サイト会社に時刻表のデータ提供を実施した。 沿線自治体において、公共交通ガイドマップを作成した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率56.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は1.6%悪化し54.6%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 工業団地等で外国人労働者が増加したことで利用者が増加したが、人件費や燃料費等の経費も増加した。	高齢者等に分かりやすい情報提供の手法を検討するほか、コスト削減のための路線の再編についても検討していく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等による利用状況をもとに自治体等と連携し路線再編などの利便性向上策を実施することを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名:千葉県バス対策地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ちばレインボーバス(株) 白井線①	白井車庫～白井駅～鎌ヶ谷大仏駅～西船橋駅	自治体と協力してラッピングバスを運行した。イベントを開催し、会場で特別乗車券の販売やPRを実施した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率62.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は12.0%改善し74.9%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 コロナ禍からの回復がみられるも、平成31年度比6割程度に留まり、芳しくない状況のなか、乗務員不足にも対処するため令和5年10月に減仕業を実施した。慢性的な遅延運行に加え減便による利用者の逸走がみられるものの、運賃改定(2024年7月)、経費の削減やPR事業などにより収支率は改善した。	重複している系統の運行ダイヤの調整を検討し、利便性を向上させる。
ちばレインボーバス(株) 白井線②	白井駅～鎌ヶ谷大仏駅～西船橋駅	自治体と協力してラッピングバスを運行した。イベントを開催し、会場で特別乗車券の販売やPRを実施した。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R5年度収支率57.5%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.5%改善し62.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】 コロナ禍からの回復がみられるも、平成31年度比6割程度に留まり、芳しくない状況のなか、乗務員不足にも対処するため令和5年10月に減仕業を実施した。慢性的な遅延運行に加え減便による利用者の逸走がみられるものの、運賃改定(2024年7月)、経費の削減やPR事業などににより収支率は改善した。	重複している系統の運行ダイヤの調整を検討し、利便性を向上させる。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・自治体や関係団体との協力・提携によるラッピングバスや特別乗車券の販売など、利用促進策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組を実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和6年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しく今が転換期。 ○鉄道など他の交通モードと情報共有を図り、データに基づいた具体的な目標・成果・課題を明らかにし、関係機関と連携のうえ地域全体で検討することが重要。 ○データの基礎となる基本情報は、応用可能なデジタル化にシフトすることを期待する。					